

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付 : 2019年4月13日
日海科振 第031号
事業ID : 2017448318
事業名 : 海洋に関する科学知識の普及啓発
に係る環境整備
団体名 : 公益財団法人 日本海事科学振興財団
代表者名 : 常務理事 鈴木 浩 司
TEL : 03-5500-1112
FAX : 03-5500-1190
事業完了日 : 2019年3月31日

事業費総額	283,443,567円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	64,583,567円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	218,860,000円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	円	(収支計算書の青のセルの値)

I. 事業内容(実績。700文字以内):

1. 海洋に関する博物館事業

(1) 「船の科学館 別館展示場」の公開

領海や排他的経済地域などの日本の海を海底地形図などで紹介する「にっぽんの海」や「海を守る」、海に関する疑問に回答する「海と船のQ&A」等のコーナーの設置、学芸員による展示解説を実施。

(2) 屋外展示資料の保存整備

初代南極観測船“宗谷”等の屋外展示資料を適切に保存し、来館者への良好な見学環境を提供するために日常的な保守管理を実施。

(3) ボランティアの活用

海洋・船舶に関する専門的な知識を有するボランティアの協力を得て来館者に対する解説・船内案内等を実施。

(4) 将来計画の策定

周辺地域の開発を踏まえ、将来に向けての新たな博物館構想の取り組みを継続するとともに、国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を行う。

2. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業

(1) 海洋に関する科学知識の普及啓発活動

参加体験型の夏季特別催事等の開催、生涯学習の機会創出を目的に、視覚障がい者を対象とした参加体験型プログラムを実施する。学校等へのアウトリーチ活動を積極的に展開するとともに、関係機関との連携事業等を実施。ホームページで収蔵品データベースを公開するとともに、全国の博物館等に貸し出しを行う。

3. その他財団の目的達成に必要な事業

(1) 広報活動

事業の成果を広く一般に周知させるため、ホームページをはじめツイッター等のSNSを活用した情報発信のほか、マスメディアへの取材協力及び海洋関係機関、学校等の諸行事に対して積極的に協賛・協力を行う。

(2) その他財団の目的達成のため必要な事業を実施。

II. 事業内容詳細:

1. 展示、学芸活動関係

(1) 「船の科学館別館展示場」の公開

別館展示場では、国連海洋法条約に基づく日本の海とその海を守るための取り組みを紹介する「にっぽんの海」や、「海を守る」と題した展示コーナーを中心に当館収蔵品の一部を公開するとともに、当館学芸員による展示解説などを通じて海洋に関する様々な疑問に対し、わかりやすく回答するコーナーを設置するなど海洋に関する科学知識についての普及啓発を図った。

- ・平成30(2018)年度の入場者数 101,498名(前年対比+9.7%)
- ・公開日数 307日
- ・当館の休館日に伴う未公開日数 58日

(2) 「初代南極観測船“宗谷”」の一般公開

“宗谷”の乗船者数及び公開日数は、次のとおりであった。

- ・平成30(2018)年度の乗船者数 61,585名(前年対比+4.5%)
- ・公開日数 307日
- ・当館の休館日及び移設に伴う未公開日数 58日

(3) 資料の受入

平成30(2018)年度においては、次のとおり資料の受け入れを行った。

- ① 岡添正氏：船舶模型「日本海軍巡洋艦“摩耶”」
- ② 宮地加寿江氏：船舶模型「鉦石・撒積兼用船“旭翔丸”」 他2点
- ③ 柳田貴子氏：写真資料「関釜連絡船“天山丸”」
- ④ 廣瀬 仁氏：船舶模型「戦列艦HMS“ヴィクトリー”」
- ⑤ 佐古泰子氏：南極新聞、写真アルバム(“宗谷”第4次南極観測)

(4) 資料の貸出

- ① 国立大学法人神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館
貸出資料：船舶模型「原子力船“むつ”(縮尺1/100)」ガラスケース付
貸出期間：平成30(2018)年4月1日～平成31(2019)年3月31日
- ② 公益財団法人三笠保存会
貸出資料：船舶模型「戦艦“三笠”」他1点
貸出期間：平成30(2018)年4月1日～平成31(2019)年3月31日
- ③ 三菱重工航空エンジン株式会社

貸出資料：二式大型飛行艇火星 22 型エンジン 2 基

貸出期間：平成 30 (2018) 年 4 月 1 日～平成 31 (2019) 年 3 月 31 日

④科学技術館

貸出資料：六分儀

貸出期間：平成 30 (2018) 年 4 月 1 日～平成 31 (2019) 年 3 月 31 日

⑤警視庁東京湾岸警察署

貸出資料：帆船模型“カティールサーク” 他 2 点

貸出期間：平成 30 (2018) 年 4 月 1 日～平成 31 (2019) 年 3 月 31 日

⑥石狩市

貸出資料：旧石狩灯台灯器（アクリル製展示ケース含む）

貸出期間：平成 30 (2018) 年 4 月 1 日～令和元(2019)年 1 月 1 日 5 日（予定）

⑦日本郵船歴史博物館

貸出資料：船舶模型「コンテナ船“春日丸”（縮尺 1/500）」 他 5 点

貸出期間：平成 30 (2018) 年 4 月 1 日～7 月 2 5 日

⑧株式会社トップシーン

貸出資料：船舶模型「遣唐使船（縮尺 1/20）」

貸出期間：平成 30 (2018) 年 5 月 2 6 日～2 9 日

⑨公益財団法人福井原子力センター

貸出資料：巡回展アイテム「海のクラフト工房」 他 3 点

貸出期間：平成 30 (2018) 年 6 月 4 日～1 2 日

⑩一般財団法人清水港湾博物館（フェルケール博物館）

貸出資料：絵図「荷船各所 三枚ノ内横ヨリ見タル等」 他 4 1 点

貸出期間：平成 30 (2018) 年 8 月 1 6 日～1 1 月 2 0 日

⑪かすみがうら市教育委員会

貸出資料：船舶模型「五大力船(縮尺 1/20)」 他 2 点

貸出期間：平成 30 (2018) 年 8 月 2 8 日～1 0 月 3 0 日

⑫安城市歴史博物館

貸出資料：船舶模型「蒸気軍艦“観光丸”」 他 1 点

貸出期間：平成 30 (2018) 年 1 1 月 1 0 日～平成 31 (2019) 年 1 月 7 日

⑬発泡スチロール協会

貸出資料：昭和基地断熱パネル

貸出期間：平成 31 (2019) 年 2 月 2 5 日～平成 31 (2019) 年 3 月 1 3 日

(5) 写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。

4 5 件 1 4 9 点

(6) 資料の借用

①東京国立博物館

借用資料：船舶模型“麒麟丸” 他 1 3 点

借用期間：平成 30 (2018) 年 4 月 1 日～平成 31 (2019) 年 3 月 31 日

②東京大学総合研究博物館

借用資料：船舶模型“小菅丸” 他 2 点

借用期間：平成 30 (2018) 年 4 月 1 日～平成 31 (2019) 年 3 月 31 日

③鉄道博物館

借用資料：船舶模型「弁才船（半割）」 他5点
借用期間：平成30(2018)年4月1日～平成31(2019)年3月31日

④株商船三井

借用資料：船舶模型“報国丸” 他2点
借用期間：平成30(2018)年4月1日～平成31(2019)年3月31日

⑤山高 登氏

借用資料：絵画「黄海海戦で奮戦する“赤城”油彩画」他36点
借用期間：平成30(2018)年4月1日～平成31(2019)年3月31日

⑥大家宏之氏

借用資料：船舶模型「北前船“両徳丸”」
借用期間：平成30(2018)年4月1日～平成31(2019)年3月31日

⑦独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

借用資料：マンガン団塊 他2点
借用期間：平成30(2018)年4月1日～平成31(2019)年3月31日

(7) 催事等の開催

①ボランティアの展示解説

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”について分かりやすく展示解説した。

活動人員：延べ242名

開催期間：平成30(2018)年4月から平成31(2019)年3月

開催日数：97日

※“宗谷”の展示案内については、8月は猛暑のため、また12月から3月までは冬季のため休止した。

開催場所：「船の科学館別館展示場」及び“宗谷”

②生誕80周年記念企画展「検証“宗谷”の奇跡」

建造されてから80年の記念すべき年に、「不可能を可能にした奇跡の船」と呼ばれた“宗谷”の航跡を当時の貴重な写真と関係資料で振り返る機会として開催した。

開催期間：平成30(2018)年5月3日～6月10日

開催場所：本館1階ロビー

入場者数：10,291名

③展示解説会

海洋について興味・関心を持ってもらうことを目的に、別館展示場において当館学芸スタッフによる展示解説会を実施するとともに、解説会終了後に「質問コーナー」を設置して、子どもたちからの海洋に関する様々な疑問に対してわかりやすく回答した。

・開催日：平成30(2018)年5月3日

テーマ：「知ってる？船が無いと困ること」

参加者数：11名

・開催日：平成30(2018)年5月4日

テ ー マ : 「にっぽんの海ってどんなところ？」

参加者数 : 11名

- ・開 催 日 : 平成30(2018)年6月2日

テ ー マ : 「南極観測船 “宗谷”」

参加者数 : 13名

- ・開 催 日 : 平成30(2018)年9月8日

テ ー マ : 「海と船のQ&A (宗谷編)」

参加者数 : 9名

- ・開 催 日 : 平成30(2018)年12月8日

テ ー マ : 「海と船のQ&A (宗谷編)」

参加者数 : 20名

- ・開 催 日 : 平成31(2019)年1月20日

テ ー マ : 「にっぽんの海ってどんなところ？」

参加者数 : 7名

- ・開 催 日 : 平成31(2019)年3月2日

テ ー マ : 「にっぽんの海ってどんなところ？」

参加者数 : 11名

※参加者合計数 : 82名

④ 「海と船のおはなし会」

ボランティアの帆船愛好会「ソルティフレンズ」による当館が収蔵する海事図書資料を活用したファミリー向けの「絵本の読み聞かせ」を実施するとともに、当館学芸員による絵本に関連した事項を紹介、解説するギャラリートークを実施した。尚、8月実施分は、夏休みに開催した「海の学び舎わくわくキッズパーク」の特別プログラムとして実施した。

- ・開 催 日 : 平成30(2018)年5月5日

テ ー マ : 「奇跡の船 “宗谷”」

参加者数 : 38名

- ・開 催 日 : 平成30(2018)年6月10日

テ ー マ : 「奇跡の船 “宗谷”」

参加者数 : 24名

- ・開 催 日 : 平成30(2018)年8月12日(海の学び舎わくわくキッズパーク内)

テ ー マ : 「ふなゆうれい」

参加者数 : 45名

- ・開 催 日 : 平成30(2018)年12月23日

テ ー マ : 「奇跡の船 “宗谷”」

参加者数 : 22名

- ・開 催 日 : 平成31(2019)年2月10日

テ ー マ : 「奇跡の船 “宗谷”」

参加者数 : 28名

- ・開 催 日 : 平成31(2019)年3月3日

テ ー マ : 「せいそうせんのくりんまる、しょうぼうていハーヴィー ニュー

ヨークをまもる」

参加者数：12名

※参加者合計数：169名

⑤「宗谷にタッチ！さわって学ぶガイドツアー」

通常の博物館展示だけでは対応が難しい視覚障がいのある方を対象に、船の大きさや質感、南極観測の意義や暮らしを支える船の重要な役割等について体感しながら知っていただくことを目的としたツアー形式の見学会を実施した。

・開催日：平成30(2018)年4月21日

開催場所：宗谷

参加者数：6名

・開催日：平成30(2018)年5月26日

開催場所：宗谷

参加者数：19名

・開催日：平成30(2018)年9月15日

開催場所：宗谷

参加者数：10名

※参加者合計数：35名

⑥「海の学び舎・わくわくキッズパーク」

子どもたちが普段より海に触れる機会が増える夏休み期間中、表現力や想像力を養う展示や特別体験プログラムへの参加を通して、楽しみながら海や船、海の生き物について学んでもらうことを目的として開催した。

開催期間：平成30(2018)年7月15日～8月26日

開催場所：別館展示場

【展示】

- ・東京港の生き物たち写真パネル
 - ・幼児向け海の生きものふれあいプレイコーナー
 - ・海のいきものぬりえコーナー
 - ・海の生きもの釣りコーナー
- 参加者数：1,011名
- ・船の科学館見学スタンプラリー
- 参加者数：2,054名

【特別プログラム】

(17プログラム全33回：全参加者数911名)

ア. スクリューで走る南極観測船“宗谷”

開催日：平成30(2018)年7月15日

参加者数：61名

イ. フェルトで作る海の生き物

開催日：平成30(2018)年7月16日

参加者数：55名

ウ. 身近なものはどこからやってくるの？

開催日：平成30(2018)年7月21日

- 参加者数：34名
協力：東京海洋大学海事普及会
- エ. コンパスを作ろう！北はどっちだ！？
開催日：平成30(2018)年7月22日
参加者数：58名
- オ. 魚のプロが教える、魚の体のヒミツ
開催日：平成30(2018)年7月28日
参加者数：49名
協力：一般社団法人大日本水産会魚食普及推進センター
- カ. メタンハイドレートってなあ～に？
開催日：平成30(2018)年7月29日
参加者数：74名
協力：東京海洋大学音響資源探査研究室
- キ. 海からの贈りものーメタンハイドレートー
開催日：平成30(2018)年8月4日
参加者数：25名
協力：東京海洋大学音響資源探査研究室
- ク. お塩の実験教室
開催日：平成30(2018)年8月5日
参加者数：65名
協力：塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会
- ケ. くらげの不思議
開催日：平成30(2018)年8月11日
参加者数：64名
協力：北里大学海洋生命科学部
- コ. みて！さわって！うみがめ教室
開催日：平成30(2018)年8月12日
参加者数：64名
協力：東京海洋大学うみがめ研究会
- サ. お天気のお不思議
開催日：平成30(2018)年8月14日
参加者数：61名
協力：いであ株式会社
- シ. みずパワーで船を動かしてみよう！
開催日：平成30(2018)年8月15日
参加者数：62名
協力：公益社団法人日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会
- ス. 船にはたらく力をみてみよう！
開催日：平成30(2018)年8月18日
参加者数：56名
協力：東京海洋大学海事普及会

セ. イカスマイアートはいかが？

開催日：平成30(2018)年8月19日

参加者数：66名

協力：江東区環境学習情報館えこっくる江東

ソ. 風速計をつくろう！

開催日：平成30(2018)年8月25日

参加者数：50名

協力：一般財団法人日本気象協会

タ. チリメンモンスターを探せ

開催日：平成30(2018)年8月26日

参加者数：50名

協力：東京海洋大学魚類学研究室

チ. スクリューで走る船 リターンズ！

開催日：平成30(2018)年8月26日

参加者数：17名

(8) 共催・後援・協力事業

「海」、「船」、「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力を行い、海洋に関する科学知識の普及、啓発に努めた。

①「未来館発着、南極旅行！～「宗谷」から「しらせ」まで～」への協力

開催期間：平成30(2018)年4月8日

開催場所：初代南極観測船“宗谷”、日本科学未来館

主催：日本科学未来館

参加者数：58名

②「2018 Ready, Set, Wear It!」への機材貸出協力

貸出期間：平成30(2018)年8月8日～13日

主催：公益財団法人 マリンスポーツ財団

③東京湾環境一斉調査

実施日：平成30(2018)年8月1日

実施場所：“宗谷”近辺

実施内容：水質観測

主催：東京湾再生推進会議モニタリング分科会等

④「第55回関東地区中学生海の絵画コンクール」への後援及び協力

・後援名義使用

・特別賞受賞者へ「船の科学館賞」贈呈

主催：公益社団法人関東海事広報協会

⑤第13回青函連絡船講演会

実施日：平成30(2018)年11月3日

実施場所：本館1階ロビー

主催：青函連絡船史料研究会

参加者数：45名

⑥海のお仕事図鑑

実施日：平成31(2019)年2月17日

実施場所：船の科学館

主催：海と日本プロジェクト in TOKYO事務局

参加者数：54名

⑦第14回青函連絡船講演会

実施日：平成31(2019)年3月23日

実施場所：本館1階ロビー

主催：青函連絡船史料研究会

参加者数：74名

(9) 博物館活動への参加

①みなとの博物館ネットワークフォーラム平成30年度通常総会

開催日：平成30(2018)年5月22日～23日

場所：青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸

②平成30年度度日本フローティングシップ協会総会

開催日：平成30(2018)年6月8日～9日

場所：宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館

③東京都博物館協議会及び日本博物館協会東京支部 理事会・総会、見学研修会

開催日：平成30(2018)年6月29日

場所：理事会・総会 青海フロンティアビル2階 会議室
見学研修会 TOKYOミナトリエ、テレコムセンター展望台

④日本博物館協会全国支部長会議

開催日：平成30(2018)年7月3日

場所：東京国立博物館

⑤全国博物館長会議

開催日：平成30(2018)年7月4日

場所：文部科学省講堂

⑥全国科学博物館協議会総会

開催日：平成30(2018)年7月5日

場所：国立科学博物館

⑦第2回よこすか歴史・産業遺産ミュージアム構想WG

開催日：平成30(2018)年7月27日

場所：横須賀商工会議所

⑧第3回よこすか歴史・産業遺産ミュージアム構想WG

開催日：平成30(2018)年9月21日

場所：横須賀商工会議所

⑨第5回慶長使節船ミュージアムの今後のあり方検討委員会

開催日：平成30(2018)年11月8日～9日

場所：宮城県行政庁舎

⑩第66回全国博物館大会

開催日：平成30(2018)年11月28日～29日

場所：東京文化会館

⑪みなとの博物館ネットワークフォーラムスキルアップ交流会

開催日：平成30(2018)年12月5日～6日

場所：大和ミュージアム

⑫宮城県慶長使節船ミュージアム企画運営委員会

開催日：平成31(2019)年1月24日

場所：仙台国際ホテル

⑬第6回慶長使節船ミュージアムの今後のあり方検討委員会

開催日：平成31(2019)年2月1日

場所：宮城県行政庁舎

⑭東京都博物館協議会及び日本博物館協会東京支部 理事会・総会、見学研修会

開催日：平成31(2019)年2月28日

場所：理事会 江東区深川江戸資料館 3階会議室
総会・見学研修会 江東区深川江戸資料館 レクホール

⑮日本フローティングシップ協会研修会

開催日：平成31(2019)年2月28日

場所：帆船“日本丸”

(10) 学校団体等訪問学習の受け入れ(11回開催、参加者数：85名)

校外学習等で来館する学校団体を対象に、当館学芸員が見学案内や質疑応答を通じて、「自ら考え、調べ、まとめる力」を養うとともに、海や船についてより深く学んでもらうことを目的に実施した。

- | | | | | |
|--------------|--------|----------|------|-----|
| ①平成30(2018)年 | 4月11日 | 東北地方・中学生 | 修学旅行 | 5名 |
| ②平成30(2018)年 | 4月24日 | 東北地方・中学生 | 修学旅行 | 5名 |
| ③平成30(2018)年 | 5月10日 | 東北地方・中学生 | 修学旅行 | 6名 |
| ④平成30(2018)年 | 5月22日 | 中部地方・中学生 | 修学旅行 | 26名 |
| ⑤平成30(2018)年 | 5月31日 | 中部地方・中学生 | 修学旅行 | 4名 |
| ⑥平成30(2018)年 | 6月6日 | 中部地方・小学生 | 修学旅行 | 12名 |
| ⑦平成30(2018)年 | 6月7日 | 近畿地方・中学生 | 修学旅行 | 5名 |
| ⑧平成30(2018)年 | 6月13日 | 中部地方・中学生 | 修学旅行 | 6名 |
| ⑨平成30(2018)年 | 8月29日 | 東北地方・中学生 | 修学旅行 | 2名 |
| ⑩平成30(2018)年 | 11月20日 | 中部地方・小学生 | 修学旅行 | 10名 |
| ⑪平成31(2019)年 | 2月28日 | 関東地方・中学生 | 修学旅行 | 4名 |

(11) 学校及び社会教育機関等との連携による博物館活動(アウトリーチ、体験学習受け入れ)

学校及び社会教育機関等との連携により、当館ならではの海や船に関する学習プログラムを用いたアウトリーチ活動や受け入れ活動を行い、通常当館に来館する機会の少ない客層を対象に私たちの生活と海洋とのつながりについて学んでもらうことを目的に実施した。

① 日本科学未来館『未来館発着、南極旅行！～「宗谷」から「しらせ」まで～』

体験学習の受け入れ

受入日：平成30(2018)年4月8日

受入人数：58名

受入内容：南極観測船“宗谷”の見学案内、南極の氷を使った体験活動

② 筑波大学附属特別支援学校

修学旅行体験学習の受け入れ

受入日：平成30(2018)年4月24日

受入人数：47名

受入内容：

・“宗谷”タッチツアー

宗谷の模型をタッチ（船の構造や特徴）

南極の氷にタッチ&氷がとけて気泡の中の空気が弾ける音の確認

生活に必要な食料やエネルギーのほとんどを運ぶ「船舶や海運」の重要性の解説

③ 国立大学法人東京海洋大学（留学生）

体験学習の受け入れ

受入日：平成30(2018)年6月16日

受入人数：24名

受入内容：

・別館展示場の見学案内

・南極観測船“宗谷”の見学案内

④ 江東区中川船番所資料館

アウトリーチ（出前授業）

実施日：平成30(2018)年7月22日

実施場所：中川船番所資料館

実施内容：「中川のプランクトンを観察しよう」

参加人数：55名

⑤ 埼玉県立特別支援学校塙保己一学園

修学旅行体験学習の受け入れ

受入日：平成30(2018)年7月24日

受入人数：7名

受入内容：

・“宗谷”タッチツアー

宗谷の模型をタッチ（船の構造や特徴）

南極の氷にタッチ&氷がとけて気泡の中の空気が弾ける音の確認

生活に必要な食料やエネルギーのほとんどを運ぶ「船舶や海運」の重要性の解説

⑥ 環境学習情報館えこっくる江東

アウトリーチ（出前授業）

実施日：平成30(2018)年8月3日

実施場所：環境学習情報館えこっくる江東
実施内容：親子で学ぼう！おサカナまるごとウオっちんぐ
参加者数：30名

⑦ お台場学園（港陽中学校）

アウトリーチ（出前授業）

実施日：平成30（2018）年9月11日

実施場所：港陽中学校第二理科室、環境学習情報館えこっくる江東、東京海洋大学越中島キャンパス

実施内容：

1年生 環境学習「お台場海浜公園から海の世界を学ぼう」
「煮干しから海を見てみよう」

2年生 環境学習「お台場海浜公園マイクロプラスチック調査」
「ゴミ減量化への取り組み」

3年生 大学体験入学「海と船に関する学習」

参加者数：75名

⑧ 港区立エコプラザ

アウトリーチ（出前授業）

実施日：平成30（2018）年12月9日

実施場所：港区立エコプラザ

実施内容：お魚を観察してみよう

参加者数：40名

⑨ 環境学習情報館えこっくる江東

アウトリーチ（出前授業）

実施日：平成31（2019）年1月13日、14日

実施場所：環境学習情報館えこっくる江東

実施内容：1月13日…親子で学ぼう！おサカナまるごとウオっちんぐ in えこっくる江東

1月14日…水パワーで動く船を作ろう！

参加者数：64名

⑩ 開成高等学校

アウトリーチ（出前授業）

実施日：平成31（2019）年2月21日

実施場所：開成高等学校社会科第一教室

実施内容：船と海の講演会

参加者数：25名

⑪ 第58回ジャパンインターナショナルボートショー2019

アウトリーチ（出張工作実験教室）

実施日：平成31（2019）年3月9日、10日

実施場所：パシフィコ横浜

実施内容：プロペラ船の工作実験教室の実施

参加者数：138名

(12) 「海の学び インターンシップ」の実施

①ガイダンス

実施日：平成30(2018)年7月3日
実施場所：東京海洋大学品川キャンパス
参加者数：13名

②事前打ち合わせ

(ア) 中川船番所資料館での実践実習に向けた打合せ

実施日：平成30(2018)年7月17日
実施場所：東京海洋大学品川キャンパス
参加者数：3名

(イ) 江東区環境学習情報館えこっくる江東での実践実習に向けた打合せ

実施日：平成30(2018)年7月23日
実施場所：東京海洋大学品川キャンパス
参加者数：2名

(ウ) 船の科学館での実践実習に向けた打ち合わせ

実施日：平成30(2018)年8月2日
実施場所：東京海洋大学品川キャンパス
参加者数：2名

③実践実習および改善に向けた意見交換

(ア) 中川船番所資料館

実施日：平成30(2018)年7月22日
実施場所：中川船番所資料館
参加者数：4名

(イ) 江東区環境学習情報館えこっくる江東

実施日：平成30(2018)年8月3日
実施場所：江東区環境学習情報館えこっくる江東
参加者数：4名

(ウ) 船の科学館

実施日：平成30(2018)年8月26日
実施場所：船の科学館
参加者数：6名

④成果発表会

(ア) 船の科学館

実施日：平成30(2018)年12月20日
実施場所：船の科学館
参加者数：11名 [海洋大4名(内発表者3名)、船の科学館7名]

(13) 資料等の製作

①補助解説シート「わくわくマリン Kids No. 3およびNo. 4」の増刷

製作部数：各3,000部
配布時期：平成30(2018)年6月～
配布場所：別館展示場

- ②南極観測船“宗谷”生誕80周年記念ステッカーシールの増刷
製作枚数：2,000枚
配布時期：平成30(2018)年5月～
配布場所：別館展示場、初代南極観測船“宗谷”
- ③南極観測船“宗谷”ペーパーモデルの製作
“宗谷”生誕80周年を記念して、乗船者への記念品として配布することを目的にペーパーモデルを製作した。
製作枚数：3,000枚
配布時期：平成30(2018)年5月～
配布場所：別館展示場、初代南極観測船“宗谷”
- ④南極観測船“宗谷”生誕80周年記念クリアファイルの製作
製作枚数：4,000枚
配布時期：平成30(2018)年8月～
配布場所：別館展示場、初代南極観測船“宗谷”
- ⑤補助解説シート「わくわくマリンKids No.2」の増刷
製作部数：3,000部
配布時期：平成31(2019)年3月～
配布場所：別館展示場
- ⑥補助解説シート「わくわくマリンKids No.5」の製作・配布
製作部数：3,000部
配布時期：平成31(2019)年3月～
配布場所：別館展示場

(14) 海洋及び船舶に関する研究

博物館の展示や教育普及は、調査研究と常に表裏一体であることから、当館が展示や教育普及の対象としているわが国の海と船の文化について、研究者と連携を図り調査・研究を継続している。本年度は昨年度に引き続き、南極観測を中心とした“宗谷”の歴史を記録する写真を収集すると共にデジタル化及び整理し、船の科学館収蔵資料目録7<“宗谷”写真>の改訂準備作業を実施した。

2. 施設改修整備

(1) 受変電設備変更・改修工事

船の科学館の受変電設備について、開館以来40年以上にわたり使用しており、経年劣化のため安定的な運用に不安が生じるとともに、故障の際の交換部品の調達が困難な状況となっているため、設備の変更・改修工事を実施した。

(2) 消防設備法定点検による不具合箇所修理工事

10月実施

①誘導灯等が点灯不良のため交換整備を実施した。

②スプリンクラー圧カスイッチ不良のため交換整備を実施した。

3月実施

- ①消火器が圧力低下のため交換整備を実施した。
- ②消火器格納箱が経年劣化のため交換整備を実施した。
- ③誘導灯等が点灯不良のため交換整備を実施した。
- (3) 別館展示場庇落下防止ネット工事
別館展示場の庇について、経年劣化に伴い部品金具等の落下が懸念される状態となったため、落下防止のネットを取り付ける工事を実施した。
- (4) 大駐車場改修工事
船の科学館大駐車場について、経年劣化に伴い穴あき、アスファルト剥離に伴う下地碎石の飛散等により利用者の怪我及び駐車車両の車体損傷が懸念されることから路盤舗装の改修工事を実施した。
- (5) “宗谷” 外部夜間照明改修整備工事の実施
経年劣化した外部夜間照明の整備を行った。
- (6) “宗谷” 監視カメラシステム改修整備工事の実施
経年劣化した監視カメラ等の交換整備を行った。
- (7) “宗谷” 排水ポンプの購入
船舶検査官より指摘を受けた緊急時の排水能力について、適切なポンプを購入し設置した。
- (8) “宗谷” 係留用ロープの購入
台風や高潮時等の緊急時用に備えるための予備係留索を購入した。

3. 広報関係

(1) 有料広告

①新聞、雑誌等による広告

1. 「海の日」関連名刺広告

発注先 (公財) 日本海事広報協会
(株) 日本海事新聞社

2. 年賀名刺等広告

発注先 (公財) 日本海事広報協会
(株) 日本海事新聞社
(一社) 東京都港湾振興協会

②看板の掲出による広告

1. 駅電飾看板掲出

掲出駅 「ゆりかもめ」船の科学館駅
発注先 (株) JTBコミュニケーションデザイン

2. 道路誘導看板

掲出場所 港区(お台場地区国道) 2基
発注先 関東地方整備局

(2) パブリシティ活動による無料広報実績

①テレビ等による広報

1. BSプレミアム「偉人たちの健康診断」

- 平成30年(2018)7月4日放送 所蔵資料「遣唐使船」紹介
- 2. テレビ朝日「グッド!モーニング」
平成30年(2018)10月30日放送 “宗谷”紹介
- 3. TBS「世界ふしぎ発見!」南極編
平成31(2019)年3月9日放送 “宗谷”紹介

②新聞による広報

- 1. 日本経済新聞夕刊
平成30年(2018)5月19日 “宗谷”紹介
- 2. 朝日新聞夕刊 「各駅停話 ゆりかもめ」
平成30年(2018)11月24日 “宗谷”紹介
- 3. 海上保安新聞
平成30年(2018)4月26日号 “宗谷”紹介
- 4. 「りんかいBreeze」 りんかいBreeze編集室
平成30年(2018)5月11日 161号 「検証“宗谷”の奇跡」
- 5. 「Ariake Wave」 臨海副都心新聞販売(株)
平成30年(2018)5月16日 29号 「奇跡の船『宗谷』」80周年企画
展開催」
- 6. 「asacom 豊洲版Brisa」 ASA豊洲
(有)タートルークプランニング
平成30年(2018)5月20日号 「検証“宗谷”の奇跡」
平成30年(2018)8月19日号 「海の学び舎・わくわくキッズパーク」
紹介
- 7. 海上保安新聞
平成30年(2018)4月26日号 船の科学館 宗谷80周年企画展紹介
- 8. 海事新聞
平成30年(2018)6月25日 「海の企画展サポート」紹介
平成30年(2018)7月2日 「海の学び舎・わくわくキッズパーク」紹介
- 9. 広報しながわ
平成30年(2018)7月1日 2087号 「海の学び舎わくわくキッズ
パーク」紹介
- 10. 日刊工業新聞
平成30年(2018)8月14日 “宗谷”紹介

③雑誌、WEB等による広報

- 1. 都バスイベントポスター 一般財団法人東京都交通協力会発行
平成30年(2018)4~6月 船の科学館紹介
- 2. 「TOKYO SEASIDE STORY」 産経新聞社
平成30年(2018)4月号 “宗谷”リフレッシュオープン・企画展の紹介
- 3. 「毎日新聞 WEB」
平成30年(2018)4月26日 「宗谷」80周年で企画展紹介
- 4. 「親子で自由研究 関東穴場スポット100」 (株)山川出版社発行

船の科学館紹介

5. 「日盲連 声のひろば」 社会福祉法人日本盲人会連合
平成30年(2018)6月号 「宗谷にタッチ!さわって学ぶガイドツアー」
6. 『こどもの好奇心を育てる「おでかけガイド」』 ぴあ(株)
平成30年(2018)7月9日発売 船の科学館紹介
7. 『おとな旅プレミアム 東京』(改訂版) (株)K&Bパブリッシャーズ
平成30年(2018)8月発行 船の科学館紹介
8. 「日刊工業新聞 WEB」
平成30年(2018)8月14日 宗谷紹介
9. 「親子向けお出かけ情報サイト『いこーよ』」 アクトインディ(株)
平成30年(2018)9月下旬 船の科学館紹介
10. 「クロワッサン」983号 (株)マガジンハウス
平成30年(2018)10月10日発売 “宗谷”紹介
11. 月刊『視覚障害——その研究と情報』
平成30年(2018)11月号 「宗谷にタッチ!さわって学ぶガイド
ツアー」紹介
12. 「世界の艦船 横須賀の日米海軍」
平成30年(2018)11月号 NO. 888 船の科学館展示の「摩耶」
の紹介
13. 「専門図書館ガイド」 東京都立中央図書館
船の科学館紹介
14. 「広報マスコミハンドブックPR手帳2019年度版」 公益社団法人
日本パブリックリレーションズ協会
平成30年(2018)11月下旬発行 船の科学館紹介
15. 「駐車場データ」カーナビデータ (株)アイ・エム・ジェイ
船の科学館駐車場掲載
16. 「いこーよ」子どもとおでかけ情報サイト
船の科学館紹介
17. 「おすすめコース東京+横浜」改訂版 (株)教材研究所
平成30年(2018)11月中旬 船の科学館紹介
18. 「のりもの博物館」のりもの博物館サイト 一般財団法人運輸振興協会
船の科学館紹介
19. 「2018年度公立中高一貫校受検講座5年生適正検査・作文対策テキスト」/1月号/共通タイプ (株)ベネッセコーポレーション
平成31(2018)年1月号 所蔵資料「マグネットコンパス」掲載
20. 「東京散策乗物ガイド」 (株)教材研究所
平成31(2018)年1月下旬 船の科学館紹介
21. 「るるぶとこどもとあそぼ!首都圏'20」(株)JTBパブリッシング
平成31(2019)年2月上旬発行 船の科学館紹介
22. 月刊『散歩の達人』「ぶらぶら親子さんぽ」 (株)交通新聞社
平成31(2019)年2月号 船の科学館紹介

- 23. 「まっふる 家族でおでかけ関東周辺 19-20」 (株) 昭文社
平成31(2019)年3月8日発売 船の科学館紹介
- 24. 「東京ウォーターフロントシティガイドマップ」
一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会 船の科学館紹介
- 25. WEBマガジン「temiteo(テニテオ)」 (株) テニテオ
船の科学館紹介
- 26. 「りんかい線で行く お台場体験隊 2019～修学旅行・体験学習のご案内～」
りんかい線運営 船の科学館紹介
- 27. 海のPRコンテスト「うみぼすグランプリ2018」作品集
海のPRコンテスト「うみぼすグランプリ」実行委員会
平成31(2019)年3月8日発行 船の科学館紹介

④インターネットによる広報

社会教育施設からの海洋教育の情報発信を充実させるため、当館「公式ホームページ」を活用し、当館で開催する体験学習等のイベント案内及び活動報告や海洋関連の情報をタイムリーに更新するとともに、SNS（ツイッター、フェイスブック）を活用した情報発信をすることで、当館における海洋教育の実践内容を広く公開した。

4. 展示・催事に係る造作、設営

①海の学び舎・わくわくキッズパーク」展示造作・設営及び撤去

夏休み期間限定で別館展示場を「海の学び舎・わくわくキッズパーク」として活動するために展示資料の模様替えや工作コーナー等の展示造作・設営を実施した。

発注先：中村展設(株)

5. 船の科学館将来計画の策定事業

財団が立地する臨海部の東京ベイゾーンにおいては東京オリンピック・パラリンピックの競技会場が多数計画され、また、船の科学館に至近の水面に、令和2(2020)年7月14日の供用開始を予定する新客船埠頭ターミナルの建設工事が進行中であり、周辺地域の開発は著しく進捗することが予想される。それらを踏まえ、将来に向けての新たな博物館構想の取り組みを継続するとともに、国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を行った。

6. 経費節減策

(1) 看板、ポスター等の自主制作

敷地内に掲示する看板やイベント等告知ポスターなどを極力業者に発注せず、財団内にて制作している。

(2) 外注印刷物版下の自主制作

印刷物を制作する場合、印刷に必要なデータは極力自主制作することにより校正作業の軽減を図るとともに、版下作成代等の印刷費用を削減している。

- (3) 小規模な修繕を職員で実施し経費の削減に努めた。
- (4) 電力の節減策として、地域冷暖房による空調を中止し、必要な箇所のみ市販のエアコンに切り替えた。また、館内の照明は事務所等及び防犯上必要な箇所のみとしている。
- (5) 定期昇給を実施しなかった。
- (6) 出張に係る航空券の購入は早割り等の割引航空券を利用している。
- (7) 贈答用ビール券等金券の購入は単価が安い金券ショップから購入している。
- (8) 名刺の作成は業者への発注から、財団内で名刺作成ソフトにより各自作成することとしている。

Ⅲ. 契約時事業目標の達成状況：

【助成契約書記載の目標】

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船「宗谷」、屋外展示の公開、自館での参加体験型プログラム及び通常の常設展示や普及事業での対応が難しい身体障がい者を対象としたガイドツアー等の開催、学校等へアウトリーチ活動を積極的に展開するとともに、ホームページ上で収集資料に関するデータの公開等を行うことにより、海や船への興味関心の喚起並びに海洋に関する科学知識の普及啓発を図る。

また、将来に向けての新たな海洋博物館への取り組みを継続するとともに、国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を行う。

【目標の達成状況】

初代南極観測船“宗谷”、船の科学館別館展示場の公開及び宗谷生誕80周年記念企画展「検証“宗谷”の奇跡」、展示解説会、視覚障がい者用宗谷見学プログラム「宗谷にタッチ！さわって学ぶガイドツアー」、夏休み期間中の展示・特別体験プログラム「海の学び舎・わくわくキッズパーク」等を開催したほか、今年度から新たに次世代の人材育成を目的とした「海の学び インターンシップ」を実施するとともに、「海」や「船」及び「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力など行い、海事科学知識の普及啓発に努めた。

Ⅳ. 事業実施によって得られた成果：

来館者については、船の科学館別館展示場入館者101,498人、“宗谷”乗船者61,585人であった。

Ⅴ. 成功したこととその要因：

1. 入館者数の増加

※別館展示場+8,992名<前年対比+9.7%>

※宗谷乗船者数+2,664名<前年対比+4.5%>

その要因

当館の主な集客時期である夏季（7～8月）に合わせて例年行っている特別イベント「海の学び舎・わくわくキッズパーク」が定着化してきたことや、近隣地区への広報活動の強化が要因と考えられる。

※7・8月の別館展示場入場者数+7, 872名<前年同時期対比+32.6%>

※7・8月の宗谷乗船者数+1, 118名<前年同時期対比+9.4%>

2. 学校団体等訪問学習受入件数の増加

※+7件<前年対比+175%>

その要因

当館が行う学校団体向けプログラムの認知度が向上したことから、学校団体からの参加申し込みにつながったと考えられる。

3. 「学校及び社会教育機関等との連携による博物館活動（アウトリーチ、体験学習受け入れ）」件数の増加

※+3件<前年対比+37.5%>

その要因

毎年実施している他の社会教育施設・学校団体との連携活動が定着してきたことや、積極的な広報活動が要因と考えられる。

VI. 失敗したこととその要因：

1. 当館見学者およびイベント参加者に対する海の学びの「学習効果」について、明確な効果を上げられているか疑問を感じる。

その要因

結果的に全てのイベントにおいて、誘導的な内容が多かったことが要因と考えられる。

VII. 活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案：

1. 各イベントにおける「学習効果」の向上

その対応

各イベントにおいて、自らが考え・行動できるようになることを目指したワークシート等の作成・活用

事業成果物：

【成果物の名称】

「海洋に関する科学知識の普及啓発に係る環境整備」事業完了報告書

【成果物がアップロードされているCANPANのURL】